

大学入試 2025年問題

大学入試が**激変**します
もちろん高校での学習も

2024年春の高校入学者は
本格化する《**第三期生**》です
よく理解して備えましょう

2024年の春に高校に入学するみなさん。そして次の2025年の春に入学するみなさん。みなさんは、新しい高校教育と大学入試が本格化する《第三期生・第四期生》にあたります。「激変」といわれたらびっくりして「それはたいへんだ」となるかもしれません。さらに、これまでの例で、新しい入試は、二年目三年目以降にぐっと難化します（現在の共通テストがそれにあたります）。

しかし、考えてみてください。みなさんの世代が仮に、より将来にわたって有効な、知的財産を得られるような学習ができるとしたら……よろこんでチャレンジすべきではないでしょうか。そのために少々の難しさがあっても、苦勞する価値があります。では、何がどう変わるのか……事実とデータで確認し、これからの高校での学習の「意義」を理解してください。そして、納得できたなら、一歩リードできるよう、準備にかりましょう。



2025年入試 激変ポイント

1. 入試問題がより複雑化します
2. 入試科目が増え、変わります
3. 入試の求める学力の質が変わります
4. 学習内容・学びのあり方が変わります

激変内容を理解してください！

1 2025年 大学入試激変 共通テストがこう変わる

大学入学共通テストでは「英語の民間試験」「記述問題」のどちらも使われないままになりそうです。「では、センター試験に戻るということか」という印象を受けるかもしれません。しかし、それは誤解です。共通テストは1年目の時点で「他の何にも似ていない」独特のスタイルをある程度打ち出しました。そして2年目3年目に全体的に難化し、さらに、前の年と似ていない問題が多いことをアピールしました。そして、2025年にはこの傾向がさらに強まると予想されます。まず共通テストの本質を見極めましょう。



ギモン

今行われているテストがさらに変わるんですか？

コタエ

変わります。より複雑化します！

1 難化は問題の変化の《結果》にすぎません

2024年の共通テストは「難化」「読むことのたいへんさ」が話題の中心でした。英語リーディングの平均点は過去最低で、多くの科目で文字数が過去最高でした。全体では100点満点で50点台の平均点です。実のところ、これは驚きでもなんでもありません。そもそも共通テストは「100点満点で平均50点」を目安に作成されます（センター試験は60点が目安）。ですから、本来のレベルに落ち着いた、と見るべきです。▶データ1・2

共通テストの問題が伝える最も重要なメッセージは難易度ではありません。

今年の問題は **昨年の類題ではない！** ということです。

共通テストの **脱パターン宣言** が最重要メッセージです。▶データ3

今後、過去問のパターンを反復して、解法を覚えこんでしまうことが「得点アップの基本」という学習法が通用しにくくなるということです。難化というよりも、実態に沿っていえば、**慣れない出題パターンのため、結果的に難しい**ということなのです。そこに、時間不足もくわえてよいでしょう。

SAMPLE

2 変化のポイントは「読解力重視」です

右の資料でも明らかです。▶データ1 文字数が増え、複数の文章や資料を関連させるような「複線型読解」も増えています。▶データ4 テーマは読解力重視です。数学であっても読解力が求められます。

第一の要求は **ちゃんと読め！** ということです。

しかも、限られた時間の中で速く・幅広く・正確に読むことが重要です。

データ1

問題の文字数 センター試験・共通テストの比較 (英語は単語数) : 黄色が過去5年間最大

	英語読解 (単語数)	英語リス (単語数)	数学IA	数学IIB	国語	世界史B	日本史B	地理B	物理	化学
2020 センター試験	4,800	900	4,700	6,400	25,000	10,000	14,100	12,900	6,900	7,700
2021 共通テスト	5,500	1,000	9,400	8,400	22,200	16,800	14,000	11,700	7,300	7,400
2022 共通テスト	6,000	1,200	9,900	9,900	22,800	13,000	15,800	13,900	7,800	9,000
2023 共通テスト	6,000	1,100	8,400	10,700	25,200	18,000	16,300	11,200	7,800	8,500
2024 共通テスト	6,300	1,500	11,000	10,000	25,400	17,600	16,100	12,400	6,700	11,000

データ2

平均点 (一部換算) センター試験・共通テストの比較 : 黄色が過去5年間最低

	英語読解	英語リス	数学IA	数学IIB	国語	世界史B	日本史B	地理B	物理	化学
2020 センター試験	58.2	57.6	51.9	49.0	119.3	63.0	65.5	66.4	60.7	54.8
2021 共通テスト	58.8	56.2	57.7	59.9	117.5	63.5	64.3	60.1	62.4	57.6
2022 共通テスト	61.8	59.5	38.0	43.1	110.3	65.8	52.8	59.0	60.7	47.6
2023 共通テスト	53.8	62.4	55.7	55.7	105.7	58.4	59.8	60.5	63.4	54.0
2024 共通テスト	51.5	67.2	51.4	57.7	116.5	60.3	56.3	65.7	63.0	54.8

データ3

類題度 共通テスト3年間の比較 《相似》は前年の類題であること、《変化》はそうでないことを表す

2022年 内容と素材	比較	2023年 内容と素材	比較	2024年 内容と素材	比較
ブラジルの果物の調理 図表	変化	放課後活動の案内の読み取り	変化	学校行事の案内の読み取り	相似
キリンの赤ちゃんの名募集 資料集	相似	サマーキャンプの案内の読み取り	相似	日帰り旅行のコース紹介	変化
図書館の使用法案内 資料集	変化	靴の広告の読み取り	変化	戦略ゲームクラブの案内文	相似
ペットを飼う 文章 (記事)	変化	通学中の時間の効率的な使い方のレポート	相似	旅行保険のレビュー読み取り	変化
日本祭のブログ 文章+図	変化	キャンプの準備に関するブログ	相似	ALTが日本での体験について書いたブログ	変化
英国の3つの山頂チャレンジ 文章+地図	変化	室内レクリエーションの準備に関するブログ	変化	バーチャル旅行に関する学校新聞記事の読み取り	相似
家電購入 メッセージ+価格表など	変化	文脈学習と反復学習の記事の趣旨を読み取る	変化	教室デザインの記事とアンケート結果読み取り	変化
発明家の伝記 長文+ストーリーボード	相似	高校生の書いたストーリー+ストーリーボード	相似	3人の物語読み取り	変化
朝型の人と夜型の人 長文+要約	相似	収集に関するレポート 長文+要約	相似	時間の知覚についての記事読み取り	変化
プラスチック分類 長文+要約 (ポスター)	変化	クマシについての文章 長文+要約 (スライド)	相似	トウガラシについての文章 長文+要約 (スライド)	相似

2022年 分野と内容	比較	2023年 分野と内容	比較	2024年 分野と内容	比較
数と式 文字式を利用した計算	相似	数と式 絶対値を利用した計算	相似	数と式 平方根で表された数の評価	相似
図形と計量 三角比表を用いた計算等	変化	図形と計量	変化	図形と計量 影の見え方	変化
図形と計量・2次関数	変化	—	—	—	—
2次関数・論理 二つの2次方程式	変化	データ分析 家計調査 箱ひげ・散布図	相似	2次関数 動点問題	変化
データ分析 日本語教育 箱ひげ・散布図	相似	2次関数 バスケットボール	変化	データ分析 長距離走のタイム 散布図	相似
確率 プレゼント交換会	相似	確率 色を塗る	変化	確率 カードを取り出す	変化
整数の性質 不定方程式の解法	変化	整数の性質 複数の長方形を組み合わせる	変化	整数の性質 n進数を刻む時計	変化
図形の性質 三角形の重心と諸定理	相似	図形の性質 作図の説明 円の性質	相似	図形の性質 メネラウスの定理	相似

2022年 内容と素材	比較	2023年 内容と素材	比較	2024年 内容と素材	比較
評論 文章2.5 (よだかの星+解説) +メモ1	変化	評論 文章2 (窓・建築・風景) +会話文	相似	評論 文章+文章読後書した作文	変化
小説 文章1+ノート1	変化	小説 文章+資料+構想メモ+文章	変化	小説 文章+資料+会話文	相似
古文 同テーマの文章2+会話文1	変化	古文 文章1+文章2 (1の補足) +会話文	変化	古文 文章+本文を解説した文章	変化
漢文 序文1 (解説の役割) +漢詩1	相似	漢文 文章2 (予想問題と解説)	変化	漢文 漢詩+資料漢文I~IV	変化

データ4

複線型読解 センター試験・共通テストの比較 「複線型読解」を必要とする設問の割合を示す

複線型読解の比率	英語リーディング	数学IA	国語	世界史B	日本史B	地理B	現代社会
2020 センター試験	18.8%	5.4%	0.0%	5.6%	16.7%	80.0%	13.9%
2021 共通テスト	58.5%	16.7%	32.4%	41.2%	46.9%	93.8%	36.7%
2022 共通テスト	73.0%	6.0%	29.0%	47.0%	50.0%	94.0%	37.0%
2023 共通テスト	67.0%	2.0%	34.4%	61.8%	53.1%	90.3%	40.0%
2024 共通テスト	58.1%	4.2%	22.2%	57.6%	50.0%	87.1%	35.3%
2025 共通テスト試作	55%	14%	100%	82%	71%	97%	78%

▶複線型読解とは？ 鉄道の「複線 (線路が並行して2本ある)」にたとえた問題の構造です。複数の文章や資料類を並行して読み、関連付けながら解く必要があります。代表的な例は2022年の古文。文章Iと文章IIがあります。どちらも同じ事件を語りますが、書き手が違うので視点が変わります。両方を読み比べることで初めて人物の心理や行動の意味がすっきりわかる、という構造です。上の表のとおり、文系科目で激増しています。この構造は、読解力に大きな負荷がかかり、慣れていないと時間もスタミナも大きく削られます。



ギモン

なぜそんなめんどうな問題を出すんですか？

コタエ

よく理解し、ちゃんと読むことが大切だからです！

3 複雑な設定と複線型読解が「理解」を求めます

「読むのがたいへん」「時間が足りない」……共通テスト受験者の感想です。なぜ、そこまで読解力を重視するのでしょうか？ もちろん読んで理解するのは学力の基本です。しかし、共通テストが求めているのはその先にある「よく理解する」学習態度です。

右の図を見てください。▶**対決1** 数学IAの問題です。センター試験はごくシンプルです。きれいに整備された問題を計算などで「処理」し、解を導くのが課題です。

一方、共通テストは文字が多く、ある種の「文章題」です。しかも、教材によくあるパターン化された応用問題ではなく、初見の状況設定から、「解法」を見つけ出すような出題です。そして、過去問と似ていません。

「対策しにくい」という声も。なぜ、このような問題を作るのでしょうか？

みなさんに数学をよく理解してほしいからです。これまでの「対策」の王道は、過去問と類題の反復でした。「問題が解ける」ことが目標ですが、その過程で「なぜこの方法を使うのか」「この公式の意義は」などの原理に触れるような思考が置き去りにされてしまいがちです。

原理を理解し、初見の情報を学んだ原理と組み合わせ活かす

これが新しいテストが突きつける課題です。

これまではパターン化された類題同士の類似点を見つければよかったのですが、これからは「原理」と現実的なものごとの共通点を見抜くことが求められます。

このような問題が求めるのは、**理解を深める学習**と**幅広い読解力**です。

4 情報処理の力も重要です

次の例は、暗記科目の代表、世界史です。▶**対決2** センター試験では「リード文」はしばしば不要でした。必要なのは「選択肢の語句のどこに誤りがあるか」を決める「語句知識」だけ。歴史的事件の原因や意義への考察は下手をすると、得点に結びつかない「無駄」なものでした（難関国立大学の二次試験は別）。

現在、リード文を読み、意味を考えないと解けない問題が激増しています。語句知識プラス情報処理（読解）力が求められているのです。歴史や英語に計算を含む問題もあります。語句知識の増加だけが学習の目標であってはならない、というメッセージです。▶**対決2・3**

共通テストの要求は **よく理解せよ・ちゃんと読め**。

2025年入試でこの**傾向がさらに強まる**見通しです（根拠はP.10～）

恐れる必要はありません。**知って、準備すればよい**のです。

共通テストの傾向を整理します！

- 1 読解力重視・読む量が多く、資料も含めた複線型読解が多い
- 2 初見の資料を読み、その場で推理・判断する設問が多い
- 3 解法パターンの知識より、原理の理解が重要になる設問が多い



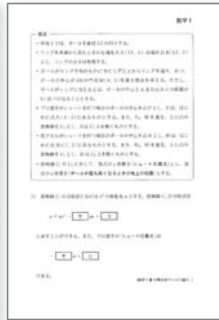
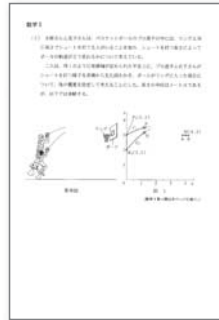
旧センター試験 vs. 共通テスト対決 3番勝負

対決1

数学 IA ボリューム&読解対決 センター試験 vs. 共通テスト 二次関数

2020年センター試験

2023年共通テスト：全5ページで会話・仮定・グラフなど多様な情報が並ぶ



もう1ページ 続きが……

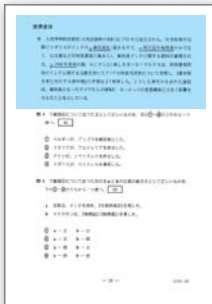
- ▶センター試験の問題は、何度も過去問や問題集に登場したいわば「おなじみ」のパターン。類題で準備すればすぐ結果につながります。「読解」要素はありません。
- ▶共通テストは、「脱・類題」。二次関数では、21年：短距離走、22年：グラフの曲線の移動、23年：バスケットボール、24年：点の移動、と題材が変化。多様な素材で原理の理解を求めます。

対決2

世界史 B ボリューム&読解対決 センター試験 vs. 共通テスト 第2問 B

2020年センター試験：■部分は読む必要なし

2022年共通テスト：会話文・表などすべて読まないと解けない



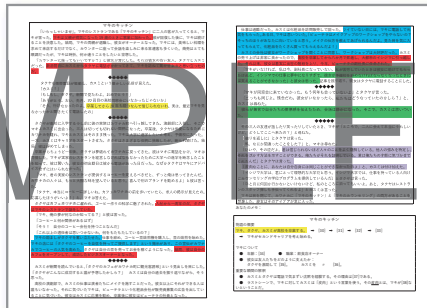
- ▶センター試験の問題は、「■部分」不要。たとえばある問では「a. 玄奘は、インドを訪れ、『大唐西域記』を残した。/b. ストラボンが、『地理誌』を著した。」の二文がそれぞれ正しいか誤りかを判定します。作者名と作品名の正しい組み合わせを知っているかどうか、だけです。
- ▶共通テストの問題には会話文や表があり、読み飛ばし厳禁です。さらに、計算も必要です。

対決3

英語 読解&情報探し対決 センター試験 vs. 共通テスト 第5問：長文読解

2020年センター試験：英語筆記

2024年共通テスト：英語リーディング



左の「色枠」は、それぞれ設問の正答の根拠がある場所を示しています。

問1 ■、問2 ■、問3 ■、問4 ■、問5 ■が「情報を探すべき」エリア。ここを確認して解答します。

二つのテストの「読み方」の違いと、共通テストがいかに「疲れる」かわかります。

※共通テストは日本語訳を用いています。

左上は、センター試験の典型的な長文読解です。各設問ごとの探すエリアは明かです。

- ▶共通テストでは情報が著しく分散しているため、解きながら何度もあっちへこっちへ右往左往させられ、平易な英文の割に時間とスタミナを削り取られます。

次ページは「共通テスト英語リーディング(2022年)」の第4問の全日本語訳です。「難しくはないが疲れてミスしてしまう」特徴を体験してください。

